プレスリリース：2026.10.01
一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム

報道関係者各位

都内 56 のアートスペースを巡る無料シャトルバス「AWT BUS」のルート発表！各種プログラムの事前予約の受付開始

11 月 6 日(金)～8 日(日)の 3 日間運行する「AWT BUS」。

2026 年 11 月 4 日（水）～8 日（日）の 5 日間にわたり開催する「アートウィーク東京（以下、AWT）」。会期中に参加施設をつなぐ無料のシャトルバス「AWT BUS」のルートを公開しました。また、親子で楽しめるワークショップやアート教育付きの託児所、東京の名建築を巡る「TOKYO HOUSE TOUR」、コレクター初心者向けのミートアップなど、各種プログラムの事前予約も受付を開始しました。

アートウィーク東京について

アートウィーク東京（AWT）は、東京の現代アートの創造性と多様性を国内外に発信する年に一度のイベントです。いわゆる「メイン会場」はありません。都内 56 の美術館・ギャラリーがそれぞれ開催する展覧会のほか、AWT 独自のプログラムや関連イベントなどを自由に巡ることで、東京のアートやカルチャーの「いま」に触れていただけます。

無料シャトルバス「AWT BUS」のルート公開！展覧会割引も

11 月 6 日（金）～8 日（日）の 3 日間運行する「AWT BUS」は、AWT の参加美術館や参加ギャラリー、プログラム会場をつなぐ無料のシャトルバスです。

今年は各エリアを回る 6 つの巡回便のほか、表参道の「AWT BAR」と大手町の「AWT VIDEO」をダイレクトに移動できる直行便を運行します。午前 10 時から午後 6 時まで運行し、どのバス停からも乗り降りは自由です。

また「AWT BUS」のバス停や AWT 参加美術館内に設置される AWT デスクでは、「AWT 参加証（リストバンド）」を配布。参加美術館のチケットカウンターでリストバンドを提示すると、一部の展覧会で割引が適用されます。

各ルートはこちらから。

「AWT BUS」開催概要
運行日時：11 月 6 日（金）～8 日（日）10:00～18:00
料金：無料
各バス停を約 15 分間隔で巡回
※ 施設によりバス運行時間と営業時間が異なる場合があります。
※ 最新の営業時間は各施設の公式サイトでご確認ください。
https://www.artweektokyo.com/bus/

各種プログラムの予約受付も開始！
「TOKYO HOUSE TOUR」には新たにふたつの名建築が追加

コレクター初心者向けミートアップ

世界最高峰のアートフェアである「アートバーゼル」と共同で実施する 3 セッション構成のプログラム。現代アートをコレクションしたいあらゆる人を対象に、アート鑑賞や購入の方法から世界のアート界の最新情報、コレクションの傾向までを立体的にとらえる手引きとなるトークを実施します。

2025 年度のミートアップの様子。

会場：AWT BAR（港区南青山 5-4-30 emergence aoyama complex）
日時：11 月 4 日（水）14:00～15:30
　　11 月 5 日（木）11:30～13:00
　　11 月 6 日（金）15:00～16:30
料金：参加無料、予約必須（定員あり）
詳細および事前申し込みはこちらから。
https://www.artweektokyo.com/events-meetup2026/

コレクター向けガイドツアー

アートコレクター向けのガイド付きバスツアー。AWT 参加ギャラリーのほか、特別展「AWT FOCUS」やポップアップバー「AWT BAR」といったプログラムを、ギャラリストやスタッフの解説を聞きながら巡ります。

2025 年度のガイドツアーの様子。

会場：AWT FOCUS など
日時：11 月 6 日（金）、11 月 8 日（日）13:00〜18:00
料金：参加無料、予約必須（定員あり）
詳細および事前申し込みはこちらから。
https://www.artweektokyo.com/events-awtguidetour2026/

キッズ・ユース向けアートウォーク＆ワークショップ

AWT 参加施設を巡りながら、作品を見て、感じて、「自分だけの見方」を集めていくアート鑑賞プログラムです。親子、子供からユースまで幅広い年齢を対象に実施します。

2025 年度のキッズ・ユース向けガイドツアー＆ワークショップの様子。

会場：AWT BAR（港区南青山 5-4-30 emergence aoyama complex）
日時：11 月 6 日（金）〜 8 日（日）10:00〜18:00
料金：参加無料、ワークショップのみ予約必須（定員あり）
詳細および事前申し込みはこちらから。
https://www.artweektokyo.com/events-kidsworkshop2026/

アート教育付き託児サービス

アート教育の場も兼ねた託児サービス。日英バイリンガル対応で、最大 3 時間まで有料で利用いただけます。生後 6 か月から 6 歳以下の乳幼児が対象です。

2025 年度のアート教育付き託児サービスの様子。

会場：AWT BAR（港区南青山 5-4-30 emergence aoyama complex）
日時：11 月 6 日（金）〜 8 日（日）10:00〜17:45
料金：有料、予約必須（定員あり）
詳細および事前申し込みはこちらから。
https://www.artweektokyo.com/events-childcare2026/

TOKYO HOUSE TOUR

篠原一男が設計を手がけた「地の家」。 Photo by Ishida Architects Studio. Courtesy Taro Nasu.

「TOKYO HOUSE TOUR」は、東京の街に佇む名住宅建築を巡る建築プログラム。東京に現存する住宅建築の保存継承、そして東京の暮らし全般に関心のある方たちに向け、2024 年に始まりました。本年は、東京都心に建つ東孝光設計の住宅建築「塔の家」、そして自然が残る郊外に立つ住宅建築として伊東豊雄が設計した「花小金井の家」、「小金井の家」（現・ムジナの庭）を訪れるほか、新たに篠原一男設計の「地の家」と坂本一成設計の「代田の町家」が訪問先に加わります。企画監修は妹島和世です（協力：妹島和世、東理恵、ムジナの庭、TARO NASU、Gardar Eide Einarsson、本田美奈子）。

日時：11 月 5 日（木）～ 7 日（土）
料金：有料、予約必須（定員あり）
詳細および事前申し込みはこちらから。
https://www.artweektokyo.com/events-tokyohousetour2026/

AWT TALKS ディレクターズ・カンバセーション「新たなる希望――次世代の美術館を想像する」

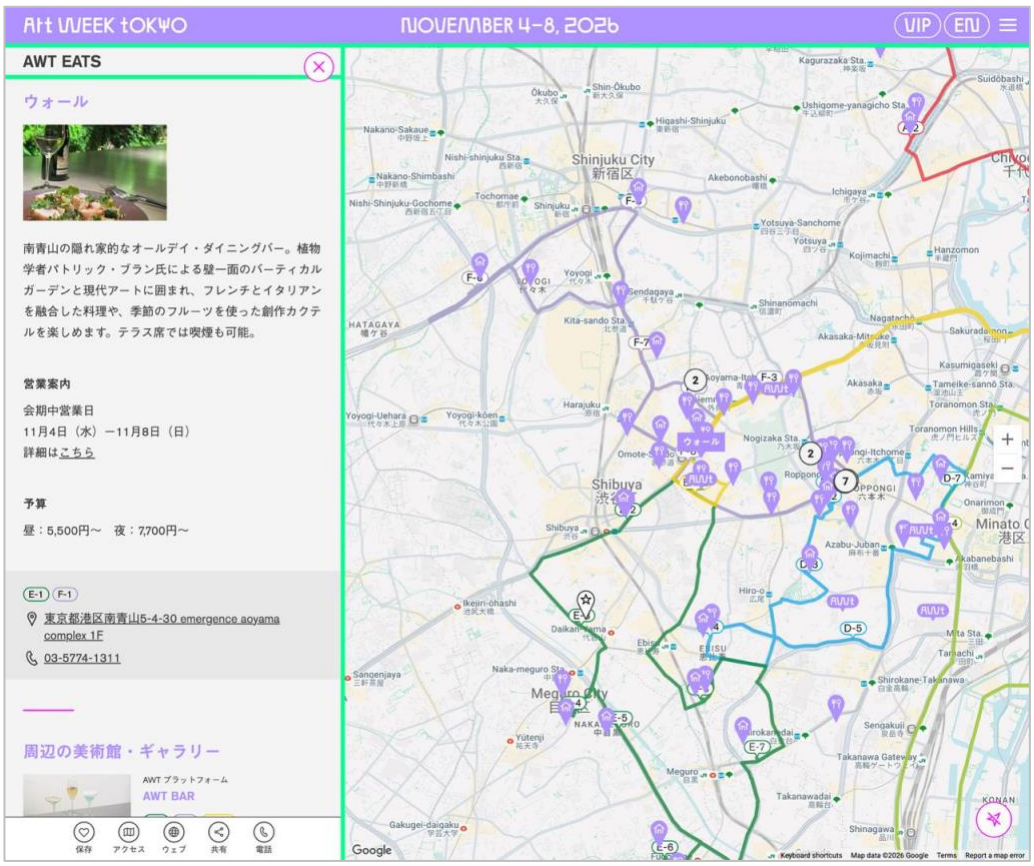
2025 年度の「ディレクターズ・カンバセーション」の様子。

2025 年にスタートした「ディレクターズ・カンバセーション」は、世界有数の美術館を牽引するリーダーたちが、運営や企画、社会との関わりについて議論するトークセッションです。今年のテーマは「新たなる希望――次世代の美術館を想像する」。次世代の美術館は、新しいコミュニティとどう関係を築き、次の 100 年に向けてどのような革新を遂げるべきなのか。東京都現代美術館の飯田志保子をモデレーターに迎え、米国のウォーカー・アート・センターを牽引するメアリー・セルティ、香港のアジア最大級の視覚文化美術館 M＋の立ち上げから深く関わるドリアン・チョン、そしてミュンヘンのハウス・デア・クンストで領域横断的なプログラムを仕掛けるアンドレア・リッソーニの 3 名が語ります。

日時：11 月 5 日（木） 17:00〜18:30（16:30 開場）
場所：東京都現代美術館 講堂
定員：190 名
料金：無料、事前申込制（英語・日本語 同時通訳あり）
詳細・お申込みはこちら
Peatix：https://awttalks2026directorsconversation.peatix.com
ArtSticker：https://artsticker.app/events/162957

マップで「AWT EATS」を公開

秋のアート巡りを彩る取り組みとして、今年も AWT 参加施設周辺の飲食店を紹介する「AWT EATS」を公開しました。ウェブサイトのマップページでは、それぞれの土地をよく知る AWT 参加施設の方々からの推薦をもとに選ばれた、個性豊かな 53 軒の飲食店をご紹介しています。



今年も会期中はコラテラルイベントを開催

AWT 会期中は東京で様々なアートイベントが開催。コラテラルイベント（関連イベント）として、その一部をご紹介します。

アートのある暮らし ＠ 松屋銀座

松屋銀座 7 階 THE HOME にて、松屋銀座公式オンラインの世界観を表現した展覧会「アートのある暮らし」を開催。現代アートを牽引する小山登美夫ギャラリー、アノマリーを迎え、家具とアート作品を組み合わせたインスタレーションを展開します。

会場：東京都中央区銀座 3-6-1 松屋銀座 7 階 THE HOME
日時：11 月 4 日（水）～7 日（土）、9 日（月）11:00～20:00
　　11 月 8 日（日）11:00～19:30
　　11 月 10 日（火）11:00～17:00
料金：入場無料
詳細：https://www.matsuyaginza.com/jp/series/ginza-art-life/primary-art

AWT×SHIBUYA PARCO ART NIGHT「REVOLIC -Revolution Holic/革命中毒」

アーティストデュオの MES が渋谷 PARCO でアートウィーク東京のメインパーティーをプロデュース。DJ や VJ などによる一夜限りのパフォーマンスに加え、4 階「PARCO MUSEUM TOKYO」では MES の作品も展示予定です。（作品展示は 20:30 最終入場）

会場：渋谷 PARCO 10F PBOX STND（渋谷区宇田川町 15-1）
日時：11 月 4 日（水）20:00～24:00
料金：一般 2,000 円（税込）／U-25 1,000 円（税込）
詳細：https://art.parco.jp/shibuya/detail/?id=1969

国際文化会館「AI と哲学」

国際文化会館のアートデザイン部門ディレクターである長谷川祐子が異なる分野のゲストスピーカーを迎えて開催するクロストーク。今年は哲学者のユク・ホイとゲーム AI の専門家である三宅陽一郎が、AI が私たちの思考に与える影響について考察します。

会場：国際文化会館（港区六本木 5-11-16）
日時：11 月 5 日（木）18:00～19:30
料金：参加費：一般 3,000 円、国際文化会館会員 2,000 円、学生 1, 000 円
詳細：https://ihjct261105.peatix.com/

セラカイ・スタジオ「セラカイ・スタジオ パフォーマンス：チェン・リャンロン（陳亮融）」

パス表参道で開催される「Certainly Tokyo」展の一環として、チェン・リャンロン（陳亮融）による持続的パフォーマンス「ebb is to flow as wax is to wane」を発表します。

会場：東京都渋谷区神宮前 5-6-5 パス表参道
日時：11 月 4 日（水）、5 日（木）16:00～20:00
料金：入場無料
詳細：https://www.serakai.studio/

国際美術展 TOKYO ATLAS

東京の臨海エリア（台場、青海、天王洲）を舞台に、アートを通じて都市の新たな風景を描き出す今年初開催の美術展。建畠哲と三木あき子がアーティスティックディレクターを務め、草間彌生の大型作品や、フランスのアブラハム・ポワンシュヴァルによるパフォーマンスなどを各所で展開する（「AWT BUS」のバス停「C5」から TOKYO ATLAS の会場のひとつである WHAT MUSEUM まで徒歩 5 分）。

会場：東京都内の台場・青海・天王洲エリア
日時：10 月 10 日（土）～ 12 月 20 日（日）10:00～17:00
料金：入場無料
詳細：https://tokyoatlas.jp/

アートウィーク東京は、東京都および東京国際文化芸術祭実行委員会が主催し、秋冬の東京を文化で彩る新たな文化芸術祭「ARTE TOKYO（アルテ・トーキョー）」（2026 年 10 月 10 日～12 月 31 日開催）にパートナープログラムとして参加しています。
「ARTE TOKYO」の詳細はこちら。
https://artetokyo.jp/ja/

参加施設（2026 年 10 月 1 日時点）

AWT FOCUS（10 軒）

ウェイティングルーム「逆立つ翼のパッチワーク」
XYZ コレクティブ「増塩太朗、ソフィー・ニス」
思文閣銀座「メアリー・ウェザーフォード：Komorebi」
スカイザバスハウス「土屋信子：ハートの A」
スペースアン「ジュリアンノックス：How Much Light Must I Consume？」
タケニナガワ「鴨治晃次：Everyday Life」
ミサコ&ローゼン「エリカ・ヴェルズッティ：彫刻の肖像」

ミサシンギャラリー「青柳菜摘：有り得べき言葉、有り得べき世界」
無人島プロダクション「日本国憲法展 2026」
ユタカキクタケギャラリー「The Quiet」

美術館・インスティテューション（14 軒）

アーティゾン美術館「ジャム・セッション 石橋財団コレクション×藤井光 WHOSE LIGHT? —だれのひかりか」
エスパス ルイ・ヴィトン東京（展覧会名は後日発表）
銀座メゾンエルメス フォーラム「アン・ヴェロニカ・ヤンセン 東京、銀座 5 丁目 4—1」
国立新美術館「少女漫画・インフィニティ 萩尾望都×山岸涼子×大和和紀 三人展」
資生堂ギャラリー「今はいつのことか— 小村雪岱と玉山拓郎」
シャネル・ネクサス・ホール「ナショナル ポートレート ギャラリー展 アイコンとイメージメーカー」
東京オペラシティ アートギャラリー「種と根っこ — 都市の耕し方」
東京国立近代美術館「竹久夢二 時代を創る表現者」
東京都現代美術館「多田美波 — 光、凛と ゆれる」
東京都写真美術館「デュエット——アジアン・コンテンポラリー」
東京都庭園美術館「マリメッコ展 模様のちから」
ポーラ ミュージアム アネックス「清川あさみ｜名和晃平 Invisible Garden」
森美術館「森万里子：燦燦（さんさん）」
ワタリウム美術館「没後 20 年 ナムジュン・パイク｜じゅげむ展」

ギャラリー（32 軒）

ギャラリー38「ステファニー・クエール LIVING SOIL: Sacred Animal」
青山目黒「日本国憲法 2026 展」
アノマリー「東山詩織 個展／小林耕平 個展」
MEM「『もの』と『こと』と『対話』をめぐって」
カイカイキキギャラリー「Utanhole Zipgunslingers」
カナカワニシギャラリー「Everyday, With a Delay」
カヨコユウキ「アナ・グランツ Buzz only」
ケンナカハシ「那須佐和子 敗走者のためのブギウギ」
コウサクカネチカ「舘鼻則孝 Heel-less Shoes」
コタロウヌカガ「コア・ポア Points of Entry」
ギャラリー小柳「須田悦弘 個展」
小山登美夫ギャラリー「日高理恵子 個展」
シュウゴアーツ「安田侃 個展」
スタンディングパイン「ジョエル・アンドリアノメアリソア LE PALAIS DES VENTS（風の宮殿）」
セイソン＆ベネティエール「クレア・シェニエ The Wind Left in My Hand」
タカ・イシイギャラリー「スターリング・ルビー OCEAN」
タロウナス「フィリップ・パレーノ 個展」
東京画廊＋BTAP「菅木志雄 works on paper」

ナンヅカ「蔦谷喜一展 ~曽田コレクション~」
日動コンテンポラリーアート「劉致宏（リュウ・ジーホン） パーキング」
パーセル「BIEN 個展」
ハギワラプロジェクツ「土肥美穂展」
PGI「竹之内祐幸 SLEEPWALK」
ファーガス・マカフリー「ポール・ウォラック DIVISIBLE –分けられる」
フイギユア「岡田理 個展」
ペース・ギャラリー「La Pêche miraculeuse」
ペロタン東京「TIME TO SHINE! (the salesmen)」
ポエティック・スケープ「野村浩 NANIGASHI Murmuration」
マホクボタギャラリー「小川信治 マリアの梯子」
ミヅマアートギャラリー「棚田康司 愛をみる」
ユミコチバアソシエイツ（展覧会名は後日発表）
リーサヤ「安藤晶子 CHORUS」

開催概要

アートウィーク東京

名称：アートウィーク東京（欧文：Art Week Tokyo、略称：AWT）
会期：2026 年 11月4日（水）～8日（日）10:00～18:00
会場：都内の参加美術館・ギャラリー、AWT FOCUS、AWT BAR ほか各プログラム会場
主催：一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム
提携：アートバーゼル（Art Basel）
特別協力：文化庁

アートウィーク東京モビールプロジェクト

名称：アートウィーク東京モビールプロジェクト
会期：2026 年 11月6日（金）～8日（日）10:00～18:00
主催：東京都／アートウィーク東京モビールプロジェクト実行委員会
料金
- AWT BUS の乗車無料。
- 参加ギャラリーの入場無料。参加美術館では AWT 会期中に限り所定の展覧会にて AWT 特別割引適用。

参加施設

参加施設および、各施設の展覧会情報は公式サイトで順次公開しています。
https://www.artweektokyo.com/exhibitions/

コーポレートパートナー

オフィシャルパートナー：SMBC グループ

ホテルパートナー：オークラ東京
ビバレッジパートナー：ルイナール
リードメディアパートナー：フィナンシャル・タイムズ
メディアパートナー：The Art Newspaper
メディアパートナー：日本経済新聞社
メディアパートナー：ArtReview Asia
メディアパートナー：Design Anthology

公式サイト https://www.artweektokyo.com
Instagram https://www.instagram.com/artweektokyo
Facebook https://www.facebook.com/artweektokyo
X https://x.com/ArtWeekTokyo
YouTube https://www.youtube.com/@artweektokyo6594

「アートウィーク東京」運営体制概要
アートウィーク東京は、アートバーゼルとの提携および文化庁の協力を受け、一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォームが主催します。また、都内のアートアクティビティーの体験を創出する「アートウィーク東京モビールプロジェクト」を、東京都とアートウィーク東京モビールプロジェクト実行委員会の主催により実施します。

「アートウィーク東京モビールプロジェクト」概要
東京都とアートウィーク東京モビールプロジェクト実行委員会が主催。アートウィーク東京の会期中に都内各地に広がる主要なアートスペースをつなぐ「AWT BUS」を運行するほか、会期前から会期中にかけて子どもや若者、アートコレクターを目指す方などを対象とする様々なプログラムの展開や、国内外のキュレーターを招聘したシンポジウムなどを通じて、幅広い鑑賞者層に対してアートアクティビティーの体験機会を創出。国内のアートに対する関心の裾野拡大を目指します。実行委員は、片岡真実（森美術館館長）、北山浩士（東京国立近代美術館館長）、渡邉努（東京都現代美術館副館長）、塩見有子（NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT]理事長）、蜷川敦子（アートウィーク東京ディレクター／一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム代表理事）。

「アートバーゼル」概要
世界最高の規模と質を誇る近現代美術のアートフェア「アートバーゼル」。毎年、拠点となるスイスのバーゼルをはじめ、香港、マイアミビーチ、パリで開かれるアートフェアには、世界各地から大勢のアートファンや専門家が集まる。（公式サイト：https://www.artbasel.com）

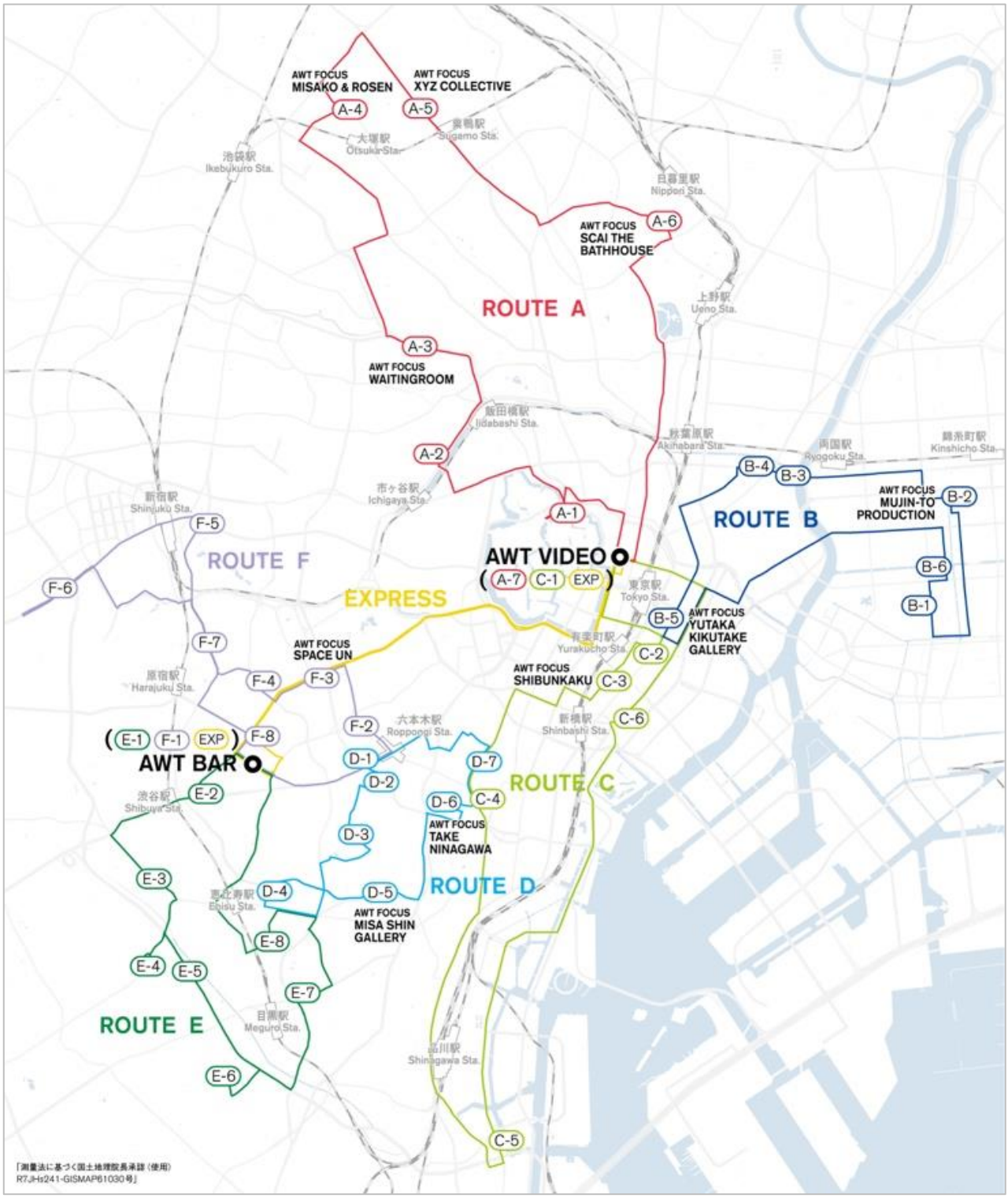
【過去のプレスリリースはこちらからご覧いただけます】
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/141413

報道関係のお問い合わせ
アートウィーク東京 PR 事務局（WAG, Inc.）
担当：会津・林・秋山／TEL：03-5791-1500／Email：awt_pr@wag-inc.co.jp

参考資料：アートウィーク東京 バスルート

※バス停や参加施設の詳細な位置情報は AWT 公式サイトにてご確認いただけます。

https://www.artweektokyo.com/bus



Aルート

- A-1 東京国立近代美術館
- 10min
- A-2 ミヅマアートギャラリー
- 5min
- A-3 AWT FOCUS ウェイティングルーム
- 15min
- A-4 AWT FOCUS ミサコ & ローゼン｜フイギュア
- 10min
- A-5 AWT FOCUS XYZ コレクティブ
- 15min
- A-6 AWT FOCUS スカイザバスハウス
- 20min
- A-7 AWT VIDEO（↔ C-1 EXP1）
- 10min

Bルート

- B-1 東京都現代美術館
- 10min
- B-2 AWT FOCUS 無人島プロダクション
- 5min
- B-3 ユミコチバアソシエイツ
- 5min
- B-4 パーセル
- 10min
- B-5 AWT FOCUS ユタカキクタケギャラリー｜アーティゾン美術館｜コウサクカネチカ｜小山登美夫ギャラリー
- 15min
- B-6 カナカワニシギャラリー
- 5min

Cルート

- C-1 AWT VIDEO（↔ A-7 EXP1）
- 5min
- C-2 ギャラリー小柳｜シャネル・ネクサス・ホール｜ポーラ ミュージアム アネックス
- 5min
- C-3 AWT FOCUS 思文閣銀座｜銀座メゾンエルメス ル・フォーラム
- 10min
- C-4 PGI
- 20min
- C-5 アノマリー｜スタンディングパイン｜TOKYO ATLAS
- 15min
- C-6 資生堂ギャラリー｜セイソン&ベネティエール｜東京画廊+BTAP
- 10min

Dルート

- D-1 カヨコユウキ｜コタロウヌカガ｜シュウゴアーツ｜タカ・イシイギャラリー｜タロウナス｜ハギワラプロジェクツ｜ペロタン東京
- 5min
- D-2 森美術館
- 5min
- D-3 カイカイキキギャラリー
- 10min
- D-4 MEM
- 5min
- D-5 AWT FOCUS ミサシンギャラリー
- 10min
- D-6 AWT FOCUS タケニナガワ
- 5min
- D-7 ペース・ギャラリー
- 10min

Eルート

- E-1 AWT BAR（↔ F-1 EXP2）
- 5min
- E-2 ナンヅカ
- 5min
- E-3 ルイナール
- 5min
- E-4 青山目黒
- 5min
- E-5 ポエティック・スケープ
- 5min
- E-6 リーサヤ
- 10min
- E-7 東京都庭園美術館
- 10min
- E-8 東京都写真美術館
- 10min

Fルート

- F-1 AWT BAR（↔ E-1 EXP2）
- 5min
- F-2 国立新美術館｜日動コンテンポラリーアート
- 5min
- F-3 AWT FOCUS スペースアン
- 5min
- F-4 マホクボタギャラリー｜ワタリウム美術館
- 10min
- F-5 ケンナカハシ
- 10min
- F-6 東京オペラシティ アートギャラリー
- 10min
- F-7 ギャラリー38
- 5min
- F-8 エスパス ルイ・ヴィトン東京｜ファーガス・マカフリー
- 5min

直行便

- EXP1 AWT VIDEO（↔ A-7 C-1）
- 20min
- EXP2 AWT BAR（↔ E-1 F-1）
- 20min